



NEWS 8/15発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック ケアハウス・ローズマリー〉
〒191-0054 日野市東平山 3-1-1 ☎042-585-8062

【ローズマリー通信へ】

～暑い夏を乗り切ろう～

暑さも、地球規模での異変のようです。沖縄より北海道の気温の方が高かったり、世界の都市でも緯度に関係なく逆転しています。当施設の周りでは、アナベル（アジサイ）の花の白いかたまりが、うす緑色に変わり、涼しい雰囲気になっています。樹の葉は深緑に生い茂り、熱い日差しは真夏そのものですが、それでも蝉の声はほとんど聞こえません。ニイニイゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシなどを聞き分けるには、ほど遠い蝉の減少です。

先の 29 日に、ひよこハウス豊田の夏祭りがあり、子どもたちは、手作りのお神輿を担ぎ、わっしょい、わっしょいと 1F フロアーを練り歩きました。その後は、ドラえもん音頭やキッズソーランなど楽しく踊り、利用者の皆さんからニコニコ顔で拍子をいただき、得意そうでした。

0 歳クラスの園児から、100 歳を越えるご利用者の方が一堂に、さらに子どもたちの保護者、職員が加わり、全世代がいっしょに楽しむ夏祭りは壮観です。そしてこういう体験は、子どもたちの生きる力の一つになっていくと思います。

翌 30 日には、クローバー、ローズマリーの夏祭りがあり、射的や綿菓子、飲み物コーナー、職員の胡弓演奏、華やかなフラダンス、エイサーの勇壮な踊り、最後は全員の盆踊りと内容も例年以上に楽しめるものになりました。

クローバーやローズマリーの特徴は、利用者の皆さんの日々の生活に、レクリエーションや行事を盛り込んで、「潤い」をお届けすることです。

そのためには、職員の生活も張りのある、豊かなものであることが必要です。その一つに、リハビリ農園を近くに用意し、野菜づくりも始めました。時々、事務所前に、キュウリ、ズッキーニ、トマト、バブーフ、トウモロコシ、カボチャ、枝豆が並びます。職員も工夫のある仕事や生活を大切に、その試みや思いが仕事にも影響し、利用者の皆さんともども、「張りのある生活と人生」を送ればと願っております。こんな施設を目指してがんばりたいという思いです。

日頃のご支援ご協力に感謝いたします。今月もよろしく願いいたします。

代表 佐々木榮一より